

市民公開講座

がんについて学ぶ

がん学 < 事始め >

Medical Oncology of the people , by poeple for the people

アンケート結果

平成 24 年 3 月 25 日 (日) 13:00 ~

秋田大学医学部 医学系総合研究棟 4 階 6 講義室

秋田大学医学部附属病院 1 階外来ホール

アンケート集計 / 回答者数 : 38 人

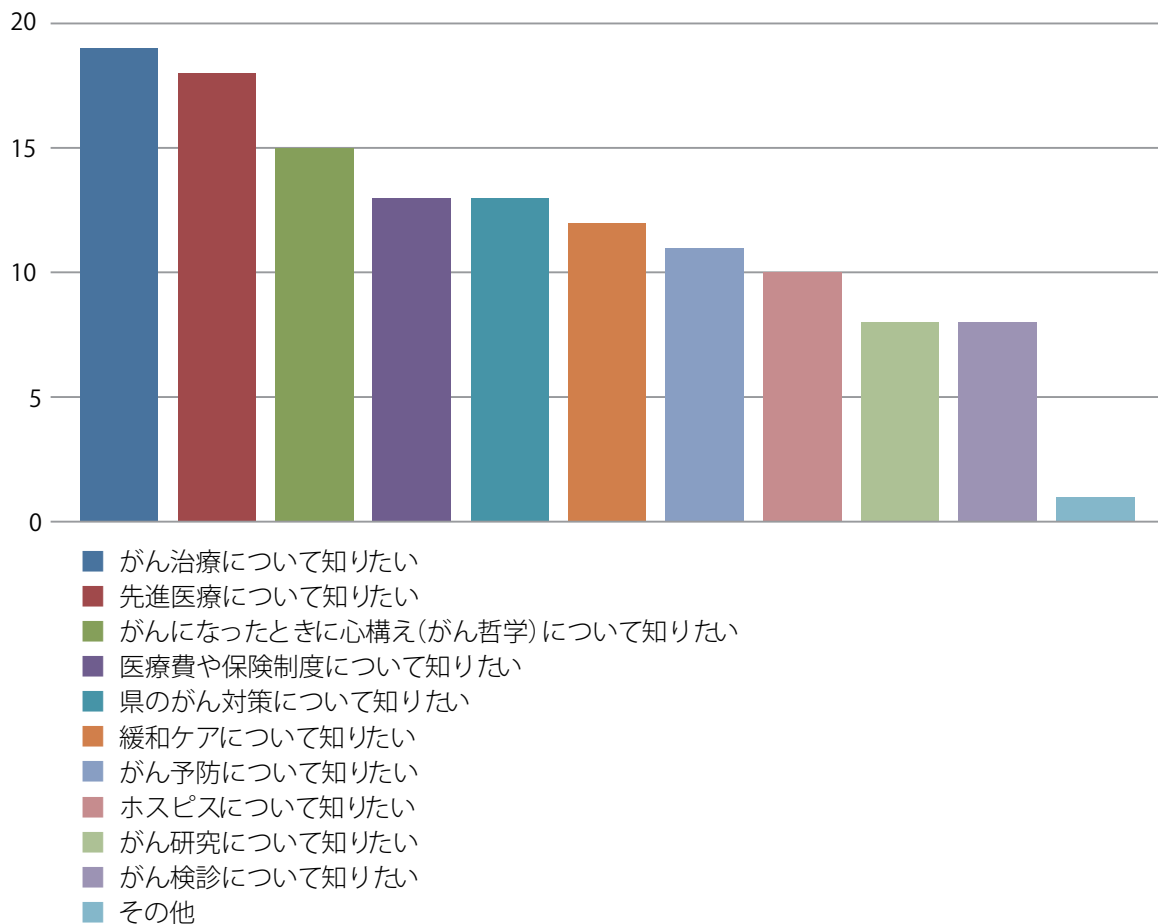


1. がん学事始めを聞いて、今後どんなことを知りたいですか？

(複数回答)

がん治療について知りたい	19人
先進医療について知りたい	18人
がんになったときに心構え(がん哲学)について知りたい	15人
医療費や保険制度について知りたい	13人
県のがん対策について知りたい	13人
緩和ケアについて知りたい	12人
がん予防について知りたい	11人
ホスピスについて知りたい	10人
がん研究について知りたい	8人
がん検診について知りたい	8人
その他	1人

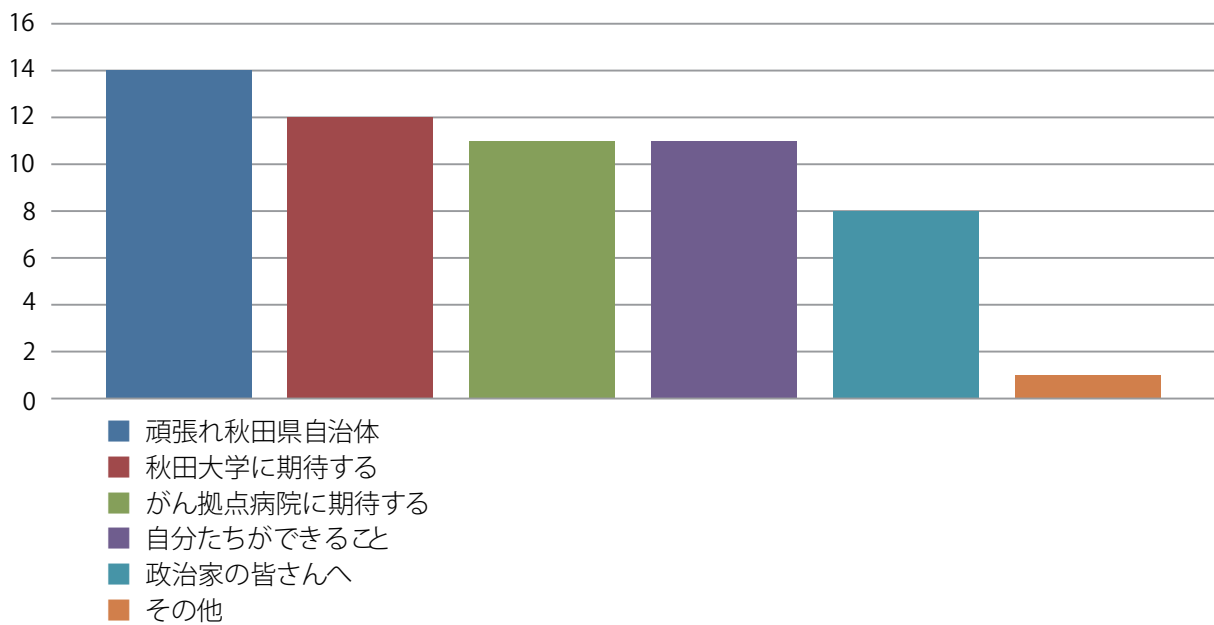
その他回答
がんを治す食事療法
(栄養学が専門なのでがんを治す食事療法などの情報も入ってくる)



2. 秋田県のがん医療をより充実させるためには、何が重要でしょうか？

(複数回答)

頑張れ秋田県自治体	14人
秋田大学に期待する	12人
がん拠点病院に期待する	11人
自分たちができること	11人
政治家の皆さんへ	11人
その他	1人



3. がん学事始めを聞いて、今後どんなことを知りたいですか？

(自由回答)

- 14年連続ワースト1。原因は何？予防するには？食事の関連は？
 - ・身近な例では、ストレスを受け続けた方が60代でがん死していることが多い。
 - ・身近な女性の例では、子宮がん死がやはり60代、50代が多い。
 - ・お世辞にも美食と言えないが栄養学の知識は一応ある。スリムな女性達（身近な80代、90代）はとても元気である（病なし）。
 - ・義弟の家は、男の兄弟が3人がん死（40代、50代）。義弟も50代でがん発病し（泌尿器がん）、治癒。妹が徹底した食事管理をし（野菜食）、現在再発治療中だが、69才で生きている。
 - ・私自身は患者でないが、ひよんなことからホスピスボランティアをやっている。ボランティアを置く必要性を聞き、納得がいったので。入院してきた患者さんの暗い顔が明るくなった時、「やったー！」と思う。ほんのわずかな心づかいが伝わった時である。5cmの猫柳1本であったり、7cmの松ぼっくり1本であったり、患者さんの求めているものと一致すると、驚く効果を出す。今後はそんなことの役にも立つかなと思い参加してみた。
- 胃癌（～癌）で手術、治療するには、どれだけの費用がかかるのか？
- 県として何をしているのか具体的によく分からない。ホームページを見るのではなく、県から県民へ → 少しは分かりました。
- 5億円の使い道
- 各がんの細部の対応を（胃、大腸と具体的に）説明等を今後行ってもらえれば幸いです。
- 肺がんになり手術治療を受け現在も経過観察中です。術後の痛みも緩和ケアの対象になると聞いているが、どこまで対応してくれるのかが不明。これからまたがんにならないとは限らないので、その時はどのような医療を受けたら良いのかを知りたい。
- 実際にがん治療を行うとどれくらいのお金がかかるのか？（薬代以外にも）高額医療制度の手続きの流れ—どこに行ったら良いのか？
- 秋田県はがん死亡率全国1位の割にホスピスの数が少ないと思うのですが、その理由は何でしょうか？
- 保険の内容により、1000万円の先進医療が受けられるとのことで勧誘を受けることがあるが、秋田県においても受けられるものでしょうか。
- 医療の進歩は日進月歩だと思うので、最先端の治療法や秋田でも他県に劣るものではないと県民が安心できるような情報が知りたい。
- がん経験者のリアルな話を聞きたい。
- 緩和ケアと場所がありますが、具体的にどのような方がどう利用できるのか、もっとアピールしてほしい。

- 生活改善の具体的なこと。がんにならない暮らし方。原因となりやすいことの情報など。
- 高齢の場合は、苦痛を伴う治療よりも、緩和ケアでおだやかな終末の方がよいのではと思っています。治療しすぎの現状もあるのでは？
- 胃がん術後3年半になります。再発転移の可能性も高く、継続的に定期検査を受けているがん患者です。もし再発したら、がん治療が始まっていくと思いますが、この際のセカンドオピニオンをどこに受けたらよいのか？を知っておきたいと思っています。治療方針について、いろいろ迷いながら、1人の医師だけでなく、選択肢を踏まえた上で、いろいろな科の専門治療の先生と相談し、決めていきたいと考えています。「がん治療について知りたい」「ホスピスについて知りたい」「先進医療について知りたい」「がんになったときの心構えについて知りたい」にチェックをしたのは、その流れで必要と思われる知識です。
- 転移の不安、気持ちのつらさ等のコントロールの仕方。
- 放射線治療、抗がん剤治療の副作用について。
- 一次検査で要精検となっても、二次検査に結びつかないケースがあるが、その対策をどのように今後取っていくつもりなのか、各検診機関の対応など。
- 秋田県と他県との違い（遅れているところ、進んでいるところ）。
- 医療費抑制体制について。
- 先進医療について全く分かりませんので知りたいです。
- がん治療と栄養の関わりについて知りたいです。
- オーダーメイド治療について。
- 乳がんからリンパ（心臓の周り）に転移のため、これから抗がん治療をする予定です。20年6月乳がん、7月卵巣がん手術、すべて自分で発見。医療費が続くか心配。
- がんの免疫療法について一全く知識ゼロである。
- 手術不可、抗がん剤も使用できない人の治療法はあるのか。

4. 秋田県のがん医療をより充実させるためには、何が重要でしょうか？

(自由回答)

- がん体験者の支援充実のために、まずは要望や日常困っていることなどの意見を広く知る努力が重要だと思った。
- Doctor の充足—秋田大学医学部卒業者に秋田に残ってもらう。
- 検診—予め県民からお金を徴収しておき（税金として）、検診に来たらお金を返す。
- 地方自治体がもっと検診を住民に知らせるべき。
- 秋田大学には若い先生をより良い医療でできるように育ててください。人間味のある医師を育ててください。
- 自分たちができること—経験したがんについて説明し、早期発見早期治療に結びつけたい。
- どうすれば検診受診率が高まるのかをもっと考える必要があると考える。TVで流すことも1つだと思うが、それだけでは受診率が高まるとは思えません。がんになったらどうになってしまうのかなど病識についてもっと力を注ぐべきだと思います。
- 全ての国民が無料でがん検診が受けられる政策、膵臓がんが検診で見つかる方法を早期に示してほしい。働き盛りの会社員が、がん検診を会社の検診として受けられる制度に変更。
- 秋田でも先進的な治療が受けられるというアピールをどんどん行ってほしい。秋田発の研究成果をもっと誇ってもらいたい。
- 医療制度、健康保険制度を改革して市民生活に沿ったものにしてほしいと思います。検診の無料化、土日祝日や夜間検診の実施など。
- 今のところやはり東京の病院の方が新しい技術で手術を受けられる病院が多いのが現状である。どんどん追いついてほしいが、都心に安く泊まれる秋田の施設があれば、しばらくの間一番ベストな手術を受けることができる。加えて交通費の援助もしていただけたらよりいいのですが…。行政に宿泊施設を都心に作ってほしい（埼玉、千葉あたりなら安い）。交通費援助。そうすれば研究のために、勉強のために、先生方も利用できるのでは…。秋田のうちうちだけの医療では、今現在がんの人を救えない状況があれば、プライドを捨て、全国という視点で考え治療を進めてほしい。死亡率をおさえ、そして研究に励み…。という姿勢が大事です。
- 秋田はがん患者が多い多いと言っているいろいろ対策していますが、都心部の活動と比べ、遅れているように思います。行政でも予算があるのであれば、もっと別のアプローチの仕方や検診向上につなげられるのではないのかと思います。
- がんの告知の段階で、進行していると伝えられた患者が、気持ちの動揺をどう立て直していったらよいのかを早い段階でフォローしてくれる緩和ケアを、治療が始まる前に受けられるような外来で受診できる科があればよかったなあと思っています。

- がんサロンに時々顔を出しています。しかし、患者が求めて足を運んだものの、その求めに応じられる方がいない。コミュニケーション技術、少しは医学的知識、患者の心に寄り添うことが、どういう方法で伝わるか、患者が来てよかったと思うような内容のサロンが欲しい。
- 胃がん患者会がないので、同じ病気で苦しんだり悩んだりしている人との交流の場を立ち上げたいと考えています。
- 医療者や行政スタッフの人件費を工面してください。
- 検診、治療のいずれにしても、施設やスタッフの数が少ないと思います。特に乳腺に関してはドクターの数が不足で負担が大きく、患者への負担も出ている現状です。各施設で医師の数を増やせるような援助や、中央から秋田へ来てもらえるような魅力ある制度などを用意してもらいたいと思います（検診から治療→緩和ケアまでトータルでできる施設など）。
- 検診率の向上について、行政が先頭に立って頑張ってもらいたい。
- 死亡率ワースト1を返上してもらいたい。
- 秋田大学にも腫瘍内科ができましたが、腫瘍内科と他の科との連携を取り、治療効果を上げていていただきたいと思います。
- 県での取組も様々な「がん対策」を行っているようですが、予算をもう少し「がん対策」の方へ！また、その予算内で「がん研究」や「がん拠点病院」の方へ配分していただけたら、もう少し秋田県でのがん治療の発展につながっていくのではないのでしょうか。
- 先進医療の研究を引き続き充実してもらいたい（50%の人ががんになる時代を迎えて）。
- 県民は柔順すぎる。医師不足等に対しては、政治、秋田大学がもっと頑張ってもらいたい。がん死亡率がワースト1……ここが医療の出発点だと思う。